

2020年7月1日現在

藤本 一雄(ふじもと かずお) プロフィール

○所属:千葉科学大学 危機管理学部 危機管理学科・教授
千葉科学大学 大学院危機管理学研究科 危機管理学専攻・教授
千葉科学大学・副学長(2020年4月より)、入試広報部・部長

○略歴:東京工業大学大学院総合理工学研究科社会開発工学専攻修士課程修了、同大学院総合理工学研究科人間環境システム専攻博士課程修了、同大学院総合理工学研究科人間環境システム専攻・助手、千葉科学大学危機管理学部危機管理システム学科・講師、准教授を経て、2014年4月より現職。富山県生まれ。博士(工学)。

○メッセージ:自然災害によるリスクを社会全体で軽減するため、リスクマネジメント・危機管理の視点から、学校・地域社会の防災力(自助・共助)を総合的・継続的に高めることを意識して、実践活動を重視した研究に取り組んでいます。

○専門領域:1. 生活安全 2. 交通安全 3. 災害安全 4. 安全教育一般 5. その他()

○キーワード:地域防災、防災教育、危機管理、災害リスクマネジメント

受賞:2007年日本地震工学会・論文奨励賞、2014年千葉科学大学教育研究功労者表彰

連携機関:銚子ジオパーク推進協議会

主な学会:地域安全学会(理事)、日本安全教育学会(理事)、日本自然災害学会(編集委員)、日本災害情報学会(広報委員)、日本建築学会、日本地震工学会

主な委員:

- 命の大切さを考える防災教育公開事業推進委員会委員(千葉県教育委員会)
- 銚子市空家等対策協議会委員
- 銚子ジオパーク推進協議会顧問
- 千葉県立銚子商業高等学校の開かれた学校づくり委員会委員
- 匝瑳市防災会議委員

主な著書:

- 日本建築学会:地盤震動と強震動予測—基本を学ぶための重要項目—、7章 地震波動論の基礎、資料編Ⅱ 平成16年(2004)年新潟県中越地震、丸善出版株式会社、2016[分担執筆]
- 日本建築学会:2011年東北地方太平洋沖地震災害調査速報、日本建築学会、2011[分担執筆]
- 防災力検定研究会、防災力検定 公認テキスト&問題集、近代消防社、2009[分担執筆]
- 阪神・淡路大震災調査報告編集委員会、阪神・淡路大震災調査報告 共通編-1 総集編、日本建築学会、2000[分担執筆]

主な研究:

- 藤本一雄・戸塚唯氏・坂巻哲:レジリエンス教育の読み物教材としての空襲体験談の利用可能性、地

域安全学会論文集、No.32、pp.1-10、2018.3.

- 藤本一雄: OODA ループの観点から見た緊急対応時の校長の意思決定に影響を与える要因—東日本大震災での岩手・宮城・福島県の小・中学校の事例研究—、自然災害科学、Vol.36、No.4、pp.399-408、2018.2
- 藤本一雄・坂本尚史・細川正清・室井房治・近藤伸也: 自然災害による最悪の事態を回避するための結果事象型イメージトレーニングの提案と実践、地域安全学会論文集、No.30、pp.61-70、2017.3.
- 藤本一雄・木村栄宏・伊永隆史・室井房治・戸塚唯氏: 危機管理教育の教材としてみた濱口梧陵の功績とその再評価、安全教育学研究、Vol.17、No.1、pp.19-31、2017.9.
- 坂巻 哲・藤本 一雄: 未災地における自然災害型ダークツーリズムの企画・実践と課題—千葉県銚子市におけるアクションリサーチ—、地域安全学会論文集、No.35、pp.1-11、2019.11
- 坂巻 哲・藤本 一雄: 濱口梧陵を題材にした防災啓発フードメニューの開発・実践とその評価、地域安全学会論文集、No.34、pp.47-56、2019.3

主な講演:

- パネルディスカッション「災害に屈しない船橋を創る」、災害に屈しない船橋を創るシンポジウム、2020、2020.2.11、船橋市民文化ホール
- 後悔しない防災・減災と危機管理、南予地域自助・共助推進活動成果報告会、2020.1.26、愛媛県歴史文化博物館
- 避難時の心構えと注意点、第18回ウーマンズヘルス学会学術集会、2019.8.10、リーガロイヤルホテル東京
- 自然災害に対する学校のリスクマネジメントと危機管理、防災授業実践研修会(千葉県教育委員会)、2019.8.5、千葉県立千葉女子高等学校

○メールアドレス:

kfujimoto[at]cis.ac.jp
[at]を半角@にしてください。

ホームページ:

研究室 <https://bosai-choshi.jimdo.com/>
危機管理学科 <https://risk.cis.ac.jp/>

